

山添中

針治療、大工や左官、重機操縦……

ドキドキ職業体験

山添村は3日、同村大西の村立山添中学校(岡田浩幸校長)で、村内企業の説明会と職業体験「山添村の企業を知ろう」を開いた。



体に見立てたスポンジに鍼を刺して鍼灸の仕事を体験する生徒。3日、山添村大西の山添中学校

2年生16人 多彩な村内企業学ぶ

村内在住・在学の中学生に村内の企業を知ってもらい、村内での就職を促進するのが狙い。村内企業6社(小売業、鍼灸業、保険販売業、茶加工業、製材業、建設業)が協力した。2年生16人が対象で、生徒らは各社の事業説明を聞いた後、小売業を除く5社の仕事を3班に分かれて順に体験した。

鍼灸業では実際に使われる鍼(はり)を使い、体に見立てたスポンジに刺して治療を体験。製材業では大工や左官の仕事に挑戦した。建設業の体験は校庭に持ち込まれた重機の操縦で、生徒はプロの操縦士の

指導の下、ハンドレバーを握って前進、転回などの操作を行った。

重機の操縦を体験した井岡愛菜さん(13)は「レバー操作は軽くて動かしやすかった。緊張したが転回もうまくいってうれしかった」と話した。

岡田校長は「この体験を思い出し、将来村内で就職し、働いてくれる子どもたちが増えれば」と期待した。